行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	２８年度

事業名	グリーンロッジ管理運営事業	担当課	商工観光課
細分化した事業名			

1　計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	訪れる人に感動を与える観光業の振興	
	施策	魅力ある観光施策の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市グリーンロッジ設置・管理・使用料条例

2　計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	自然体験教室や親子レクリエーション等の機会を通じた青少年の育成に寄与するとともに、甘利山を訪れる観光客等に良質な休憩・宿泊の場を提供する。
事業の手段	グリーンロッジの開設（管理・運営）※利用者の区分により使用料を徴収し施設を運営 ・開設機関　５／１～１０／３１（無休） ・管理人　常駐（非常勤）　１人 ・施設概要　宿泊室…大部屋２、個室３（４/８人部屋）　定員　４８（５１）人　＊（ ）は最大 談話室、炊事場、シャワー室、山岳資料コーナー
事業の対象	市民・観光客等

3　実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A　事業費　（千円）		2,398	3,162	2,657
財源内訳	国・県支出金			
	その他（使用料・借入金ほか）	791	756	763
	一般財源	1,607	2,406	1,894
B　担当職員数（職員 E）　（人）		0.3	0.3	0.3
C　人件費（平均人件費×E）　（千円）		1,947	2,038	2,014
D　総事業費（A+C）　（千円）		4,345	5,200	4,671
主な事業費用の説明	非常勤職員人件費、運営費（施設修繕・消耗品・燃料代等）			

注）平均人件費は各年度決算額（職員給与費）から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4　実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	26 年度	27 年度
活動指標	1	開設日数　日	開設日	184	184	184
	2	宿泊者数　人	年間宿泊者数	539	477	506
	3	その他利用者　人	宿泊者以外の炊事場利用者数	26	5	34

妥当性		□ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	グリーンロッジへのアクセス道路である県道甘利山公園線が、１１月下旬から４月下旬まで閉鎖になることや甘利山の気候を考慮すると、５月１日～１０月３０日までの開設期間は妥当である。
	2	年間の延べ宿泊者数は、ロッジの利用状況を図るうえで妥当である。
	3	ロッジは休憩や炊事場のみの利用も可能となっている。休憩は無料のため集計していないため、参考値として炊事場利用者数を指標とすることは妥当である。

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	利用日数　日	利用日数	８１	７１	７７
	2	利用率　％	利用日数／開設日	44.0	38.6	41.8
	3	宿泊者１人当たりコスト円	総事業費／宿泊者数	8,061	10,901	9,231

成　果		□ A 上がっている　□ B ほぼ上がっている　■ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	施設運営の成果を図るうえで利用日数を指標とすることは妥当である。 週末に利用が集中する傾向にあり、平日の利用が少ない。
	2	施設の稼働状況を測るため、利用率を指標とすることは妥当である。 ここ数年、利用状況は横ばいで推移している。
	3	リニューアル直後に比べると、利用者は伸び悩んでおり効率的な運営は難しい。

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成　□ B 期待どおりに達成　■ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 廃止（廃止の検討が必要） □ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） ・南アルプスユネスコエコパークのエリア内に位置する甘利山の魅力のＰＲ・情報発信を強化する。 ・清潔な施設管理、利用者サイドに立った管理運営を行うことで、グリーンロッジのファン（リピーター）を増やし、ＳＮＳや口コミでの集客・利用者増を図る。 ・リニューアル後一定期間が経過しつつあるため、なるべく早い時期に老朽化した個所の修繕を実施し、コストを軽減するとともに、施設の長寿命化を図る。 ・ユネスコエコパークに関連した山岳イベント等、関係団体などと連携した事業を実施することにより、利用者増につなげる。 ・南アルプスユネスコエコパーク韮崎市地域推進協議会の利用部会で、甘利山の利活用（グリーンロッジあり方含め）について協議を進める。
過去の改善経過	平成２１年全面リニューアル、使用料金改定 平成２４年管理人の交代
課長所見	グリーンロッジの利用者増に関しては、長年の懸案事項である。かつては青少年のための教育的施設であったが、利用機会が減少したのに加え、甘利山を訪れるカメラマンや少人数での利用といった時代のニーズに応えるため、平成２１年に個室化を図るための全面リニューアルを行った。管理人に聞いたところ、徐々にではあるが、リピーターが増加の傾向にあるとのことなので、引き続き、利用者から喜ばれる施設運営に努めていく。